

JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

コーディネーター

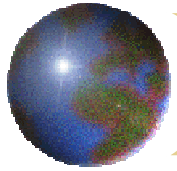
■ 武田泰明(日本GAP協会 専務理事)

パネラー(JGAP認証農場)

■ 有限会社ユニオンファーム 代表取締役 玉造洋祐

■ 氏家農場 会長 氏家治

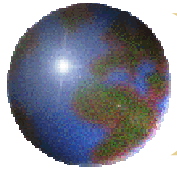
■ 会津みずほ農場 猪俣泰司



JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

論点

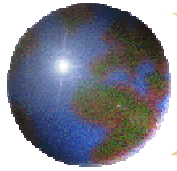
- ❖ 2011年3月の原発事故後、6月ぐらいまで広い範囲で出荷制限が行われました。
- ❖ 検査して不検出だった農産物であっても取引停止・販売減に見舞われるという、いわゆる風評被害も起きました。
- ❖ 一方で被災地応援ムードもあり、率先して買う人たちも登場しました。
- ❖ みなさんの農場はどうでしたか？



JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

論点

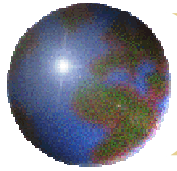
- 2011年6月までの緊急時、放射性物質の基準を超えた農産物を生産・出荷しないために、みなさんの農場ではどのような取り組みをされたでしょうか。
- 同時期に日本GAP協会が提供した対策
 - 農業者のための放射能対策アドバイスペーパー（2011年3月23日から合計5回発行）
 - 放射能検査プログラム（2011年4月21日）



JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

論点

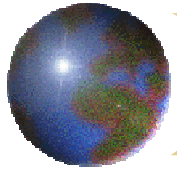
- 2011年7月以降は出荷制限品目も減り、検査機関などの体制も整ってきました。風評被害にも地域差が出てきた頃です。みなさんの農場ではどうでしたか？
- 同時期に日本GAP協会が提供した対策
 - JGAPの基準に放射能対策が追加される(2011年8月1日)



JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

論点

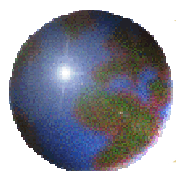
- 原発事故から1年4か月が経った現在、みなさんの農場ではどうですか？
- 長期的にはどのような方向性を予想していますか？また、有効な対策とは何でしょうか。
- 日本GAP協会がトライアル中の対策
 - ベルトコンベア式全量検査機器の実証試験
 - 果樹の葉と実の放射性物質濃度の相関



JGAP認証農場は、放射能問題といかに戦ったのか

論点

- 出荷制限と補償はセットで提供されましたが、機能していたのでしょうか。
- 風評被害に対する補償はどうだったのでしょうか。



農家のための放射能対策アドバイスペーパー

農家のための放射能対策 アドバイスペーパー

農業者の視点で、放射能対策に必要な基礎知識および対応策の選択肢をまとめてあります。
日本GAP協会会員とJGAP認証農場に配布されているものです。

第一報(3月23日)

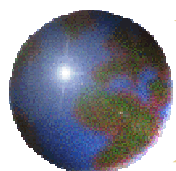
- (1) 出荷制限が該当する商品
- (2) 出荷制限品目以外の商品について
- (3) 風評被害対策について
- (4) 放射能について測定できる検査機関
- (5) 基礎知識



第二報(3月29日)

- (1) 農産物への放射性物質の付着を減らす方法
- (2) 出荷制限が該当する商品
- (3) 出荷制限品目に対する補償を受けるために、農場が準備すること
- (4) 出荷制限が行われている野菜の廃棄方法
- (5) 出荷制限品目以外の商品について
- (6) 風評被害対策について
- (7) 出荷制限の対象外の品目に対する風評被害への対策や賠償について
- (8) 放射能・放射線について測定できる検査機関





農家のための放射能対策アドバイスペーパー

第三報(4月10日)

- (1) 土壌中の放射性セシウムの植物・作物への移行について
- (2) 出荷制限が該当する商品(4月9日)
- (3) 出荷制限の設定のルール、解除のルール
- (4) 農業者が出荷制限に従うべき理由について
- (5) 野菜の冷凍処理の是非について
- (6) 自主検査または販売先または行政の調査にて、放射能の暫定規制値の超過が発見された場合の対応について



第四報(5月11日)

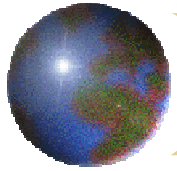
- (1) 土壌中の放射性セシウムの植物・作物への移行について
- (2) 土壌中の放射性ストロンチウムの植物・作物への移行について
- (3) 日本GAP 協会 放射能検査プログラムについて



第五報(8月3日)

- (1) 高濃度の放射性セシウムが含まれる可能性のある堆肥等の施用・生産・流通の自粛について
- (2) 茶について:古葉および土壌中の放射性セシウムの新芽への移行について
- (3) キノコについて:原木等の放射性セシウムの可食部への移行について
- (4) 食品の放射能を検査する機関(全て日本GAP 協会の会員企業)について
- (5) 輸出处向け農産物の放射能検査補助金制度について
- (6) 出荷制限や風評被害に関する賠償の請求方法について



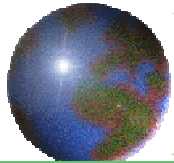


日本GAP協会が取り組んでいる 放射能問題の解決策 ①

農場ごとの安全宣言

放射能検査プログラム

(2011年4月スタート)



「農場ごとの安全宣言」 <新版> 概要①



(野菜・果実・米 用)

農場ごとの安全宣言

行政が行う地域ごとの安全宣言に加えて「一歩先の安心感を消費者に」

日本GAP協会 放射能検査プログラム(新版)

ステップ1: 田畑の汚染はどうなっているのかな?

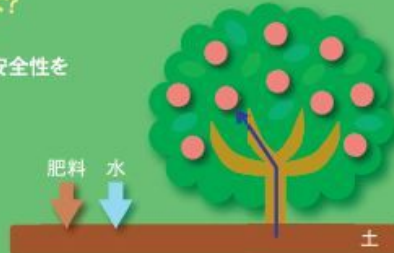
農場内の一つ一つ全ての田畑の放射線量を測ります。
放射線量が特に高い田畑(ホットスポット)が無いか確認します。
*放射線量が1.4μSv/hを超える場合は、ステップ2の検査数を増やします。



ステップ2: 農場の土は大丈夫かな?

田畑の調査に加え、土の精密検査もします。
根から吸収することも考慮し、栽培する土の安全性を確認します。

土→農産物 移行率の例(セシウム)
コメ 0.1~0.4、トマト 0.0007
サツマイモ 0.033、りんご 0.001
*農林水産省発表等を参考にします



*放射性セシウムに加え、根からの吸収率に影響を与える交換性カリウムを測ります。
*交換性カリウムが25mg/100gを下回る場合、注意を要します。
*2012年4月1日より適用される食品衛生法の新基準値で安全性を判断します。

ステップ3: 収穫された農産物は大丈夫かな?

出荷する農産物を抜き取って、放射能をチェックします。
2012年4月1日より適用される食品衛生法の新基準値で安全性を判断します。

*国の基準値よりも低い独自基準を設定してプログラムを実施することも可能です。日本GAP協会までご相談ください。



Ge半導体分析装置またはシンチレーションスペクトロメータを使用

ステップ4: 合格農場の判断

全てのステップを通して安全性が確認された場合、その農場を「合格農場」としてマークを発行しています。



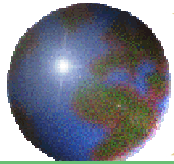
放射能だけではなく、残留農薬や食中毒や異物混入等まで管理された農場は「JGAP認証農場」として認証されています。詳しくはJGAPのホームページをご覧ください。▶ JGAP 検索

【お問合せ先】日本GAP協会 電話:03-5215-1112 E-mail:info@jgap.jp 放射能検査プログラム担当

ステップ1: 田畑全体の把握
周辺と比較し、特に放射線量の高い圃場は無いかな?

→線量計をもって田畑を回ります
→所要時間: 田畑1枚当たり2分程度

ステップ2: 農場の土の精密検査
→ステップ1の結果、最も汚染が疑われる田畑を特定し、Bq/kgを測定。(キノコの場合は菌床・原木)
→移行率を参考に、基準値を超える可能性を検討する
→交換性K濃度も考慮



「農場ごとの安全宣言」 <新版> 概要②

JGAP

(野菜・果実・米 用)

農場ごとの安全宣言

行政が行う地域ごとの安全宣言に加えて「一歩先の安心感を消費者に」

日本GAP協会 放射能検査プログラム(新版)

ステップ1: 田畑の汚染はどうなっているのかな?

農場内の一つ一つ全ての田畑の放射線量を測ります。
放射線量が特に高い田畑(ホットスポット)が無いか確認します。

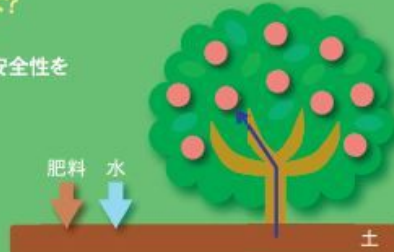
*放射線量が1.4μSv/hを超える場合は、ステップ2の検査数を増やします。



ステップ2: 農場の土は大丈夫かな?

田畑の調査に加え、土の精密検査もします。
根から吸収することも考慮し、栽培する土の安全性を確認します。

土→農産物 移行率の例(セシウム)
コメ 0.1~0.4、トマト 0.0007
サツマイモ 0.033、りんご 0.001
*農林水産省発表等を参考にします



*放射性セシウムに加え、根からの吸収率に影響を与える交換性カリウムを測ります。
*交換性カリウムが25mg/100gを下回る場合、注意を要します。
*2012年4月1日より適用される食品衛生法の新基準値で安全性を判断します。

ステップ3: 収穫された農産物は大丈夫かな?

出荷する農産物を抜き取って、放射能をチェックします。
2012年4月1日より適用される食品衛生法の新基準値で安全性を判断します。

*国の基準値よりも低い独自基準を設定してプログラムを実施することも可能です。日本GAP協会までご相談ください。



Ge半導体分析装置またはシンチレーションスペクトロメータを使用

ステップ4: 合格農場の判断

全てのステップを通して安全性が確認された場合、その農場を「合格農場」としてマークを発行しています。



放射能だけではなく、残留農薬や食中毒や異物混入等まで管理された農場は「JGAP認証農場」として認証されています。詳しくはJGAPのホームページをご覧ください。▶ JGAP 検索

【お問合せ先】 日本GAP協会 電話:03-5215-1112 E-mail:info@jgap.jp 放射能検査プログラム担当

ステップ3: 農産物の精密検査

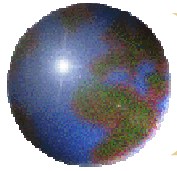
→ステップ1や2の結果をふまえ、
サンプリングをします

→食品衛生法の基準で行うことが
基本ですが、独自基準を定めて
実施することもあります

→検査機器は基準次第。

ステップ4: 合格農場の判定

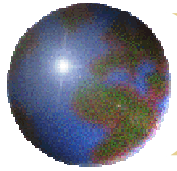
→ステップ1-3の結果をふまえ、
基準を超える農産物が出荷される
可能性が無いと判断した場合、
合格農場とする



日本GAP協会が取り組んでいる 放射能問題の解決策 ②

JGAP認証農場の制度

JGAPの基準に、放射能への対応が
追加されました。 (2011年8月スタート)

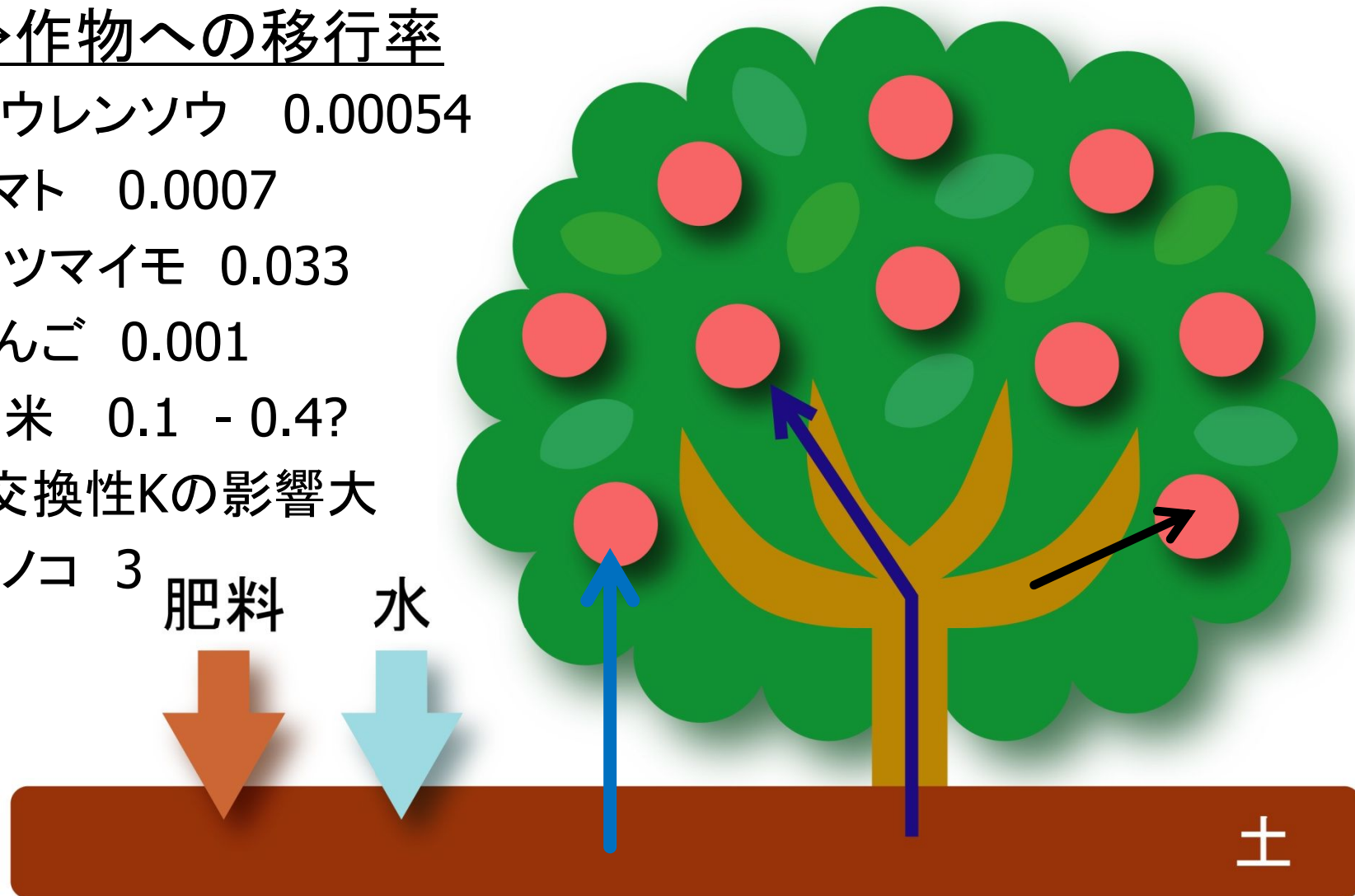


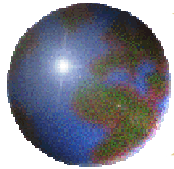
セシウムは、どのように農産物に侵入するのか

土→作物への移行率

- ホウレンソウ 0.00054
- トマト 0.0007
- サツマイモ 0.033
- りんご 0.001
- 玄米 0.1 - 0.4?
- キノコ 3

*交換性Kの影響大





JGAPは放射能にも対応



- **JGAP(認証)は、**
食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証です。
- **JGAP認証を得るために農場は**
土・肥料(たい肥など)・水の放射能の管理、収穫後の管理(土の付着防止など)、必要に応じて農産物検査が求められます。
- **これまで通り、**
残留農薬・食中毒・異物混入についても管理されています。

日本GAP協会 Japan Good Agricultural Practice

JGAPを知りたい JGAPを導入したい 指導員・審査員になりたい よくある質問 JGAP指導員 専用ホームページ

ジェイギャップ JGAPは、食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証です。

良い農産物選びは、良い農場選びから

JGAP(ジェイギャップ)は、農場やJA(農協)等の生産者団体・流通事業者が共同で推進する、農産物の生産・流通に関する認証制度です。農産物の生産・流通に関する認証制度は、農産物の生産・流通に関する認証制度です。農産物の生産・流通に関する認証制度は、農産物の生産・流通に関する認証制度です。

2011年7月31日現在

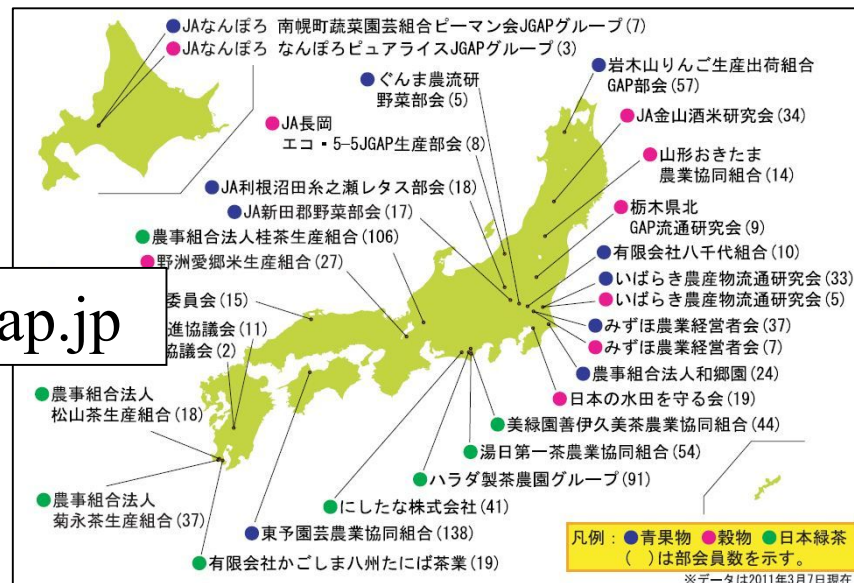
検索ページ

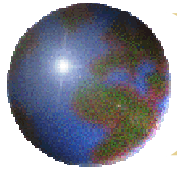
JGAPマーク

JGAP ニュース

JGAPの認証制度は、農産物の生産・流通に関する認証制度です。農産物の生産・流通に関する認証制度は、農産物の生産・流通に関する認証制度です。農産物の生産・流通に関する認証制度は、農産物の生産・流通に関する認証制度です。

<http://jgap.jp>





日本GAP協会が取り組んでいる 放射能問題の解決策 ③ 未実現

農産物の全量検査をし、
検査済みマークを付ける

JGAP・全量検査システム（開発中）

<JGAP・全量検査方式（実験中）>

農場から出荷時に農産物を非破壊検査し、
基準以下であれば「検査済みシール」を貼る

（信頼性を高めるために、破壊検査も並行）



商品の段ボール
などにシールを
貼る

検査済み
シール



非破壊
数十秒/ケース



一定数を抜き取り、時間を
かけた破壊検査も並行実施